

## 2. 目標達成計画

事業所名 グループホーム とうごう苑

作成日 平成27年 3月31日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	○事業所と地域とのつきあい (利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。)地域へ、少しずつ浸透してはいるが、地域の方々が、日常的に来苑して下さるまでにはなっていない。	地域の方々に、グループホームの仕組みや認知症の方の理解をしていただき、グループホームがより身近な存在になる。	①いきいきサロンをグループホームで開催し、見学を兼ねて、グループホームに足を運んでいただく。 ②地域の一員として、ホーム周りの環境整備をする。	①司野ゆったり会 (年一回) ②毎月一回
2	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 (一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。)入居者様の人権や尊厳を守り、尊敬の念を持って対応するよう努めているが、馴染みの関係から、ついつい馴れ馴れしい言葉使いになっている事がある。	認知症の方の発言や行動を十分理解し、どのような状態でも、尊厳を守るような優しいこえかけができるようになる。	同法人内の他事業所へ実習に行き、声かけ(コミュニケーション)の方法を学ぶ。	一年間
3	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 (重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。)入居時に、ターミナルについてのアンケートを頂いたり、重度化された場合、関係者で、話し合い対応してきたが、看取りに関する指針などの整備が出来ていなかった。	看取りに関する指針等の整備を行い、最期まで、その人らしく過ごされるよう支援します。	看取りに関する指針を整備する。	早急に